

地域学校協働活動事業訪問

【国見町学習支援活動「くにみ夏休み学習会」】

訪問日：令和元年7月22日（月）9：30～11：30

場 所：国見町観月台文化センター

対 象：国見町内の小学5・6年生

内 容：夏休みの課題（夏休みの友、プリント等）

国見町では、地域と学校の連携・協働による取組のひとつとして、放課後等の学習支援を行っています。その一環として、「くにみ夏休み学習会」が、7月22日（月）から7月26日（金）までの5日間実施されました。今年から参加対象を5年生までに広げたこともあり、会場にはたくさん子どもたちが顔をそろえていました。地域の教員OBや大学生等の学習サポーターは、一人一人の子どもたちに対してきめ細やかな支援を行い、子どもたちの自主的な学びを後押ししていました。また、子どもたちが互いに教え合う場面も多く見られ、それらを温かく見守る地域の方々の眼差しがありました。



【担当者の思い】

○ 町全体で子どもたちの学びをサポートしていく体制を作りたいです。大人の指示がなくても自主的に学習できる力が身につくことを期待しています。

【学習サポーターの声】

○ 教えたことがうまく伝わって、子どもたちができたときは、とても嬉しいです。相手に分かるように伝える力は、就職してからも必要だと思います。

【子どもたちの感想】

- 分からないところを教えてもらえるからいい。家で一人で勉強するより、たくさん進みました。
- 友達と一緒にだから楽しく勉強できます。終わったあとは、友達と遊びます。楽しいので、学習会が毎日あってもいいです。

国見町の学習支援活動は、子どもたちの学習意欲の向上や学習習慣の形成を地域全体で支援するため、平成29年から行われてきました。放課後スタディルーム（小5・6年）や観月台フリー学習室（中学生・高校生）など、発達段階に応じた学習の場と機会を年間を通して提供しています。地域人材を活用し、町をあげて学習支援を継続していることが、子どもたちの学力向上はもとより、地域の活性化にも結びついていると感じました。